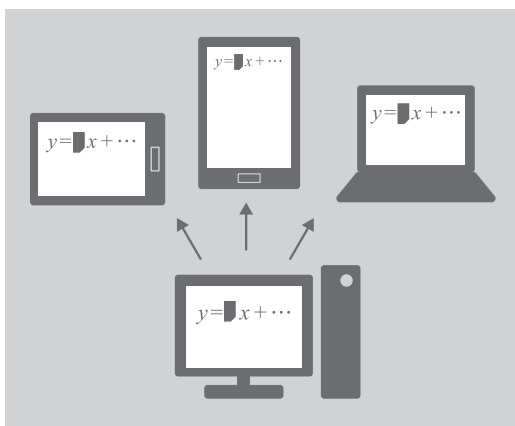


Studyaid_{DB} information vol. 71

Studyaid_{DB} オンラインのご案内 いつでもどこでもプリント配信！

前号に引き続き、Studyaid D.B. オンラインのご紹介です。
今回は「プリント配信機能」にスポットを当て、活用例と使い方をご案内します。

そもそも「プリント配信機能」とは!?



Studyaid D.B.で作成したプリントファイルを、専用アプリ『Studyaid D.B. ビューア』¹⁾がインストールされた端末に配信する機能です。従来のStudyaid D.B.でもご利用いただける機能ですが、Studyaid D.B. オンラインならではのポイントやユーザー様からの声とともに、活用例をご紹介します。

1) 詳しくは <https://www.chart.co.jp/stddb/viewer/> をご覧ください。また、数研通信 92 号でもご案内しております。

活用例1. 授業外のスキマ時間にプリントを配信

予備知識をまとめた予習プリントや、授業で使用するプリントを事前に配信することで、授業をスムーズに進めることができます。他にも、授業中に触れられなかった発展的な内容についてプリントを配信したり、家庭学習用の復習プリントを配信したりもできます。

また、プリント配信時にアンケート機能の設定を行うと、生徒からの回答を受け付けることが可能です(図1)。回答結果から生徒の理解度を把握・分析し、その後のご指導にご活用いただけます。

プリント配信はタブレット端末でも行えるので、作業場所を選びません。

職員室に限らず、ちょっとした空き時間に、そのときお手元にある端末から、手軽にプリントを配信できます。

回答選択
1. わかった
2. 答を見てわかった
3. わからなかった

図1: アンケート機能で理解度を把握

◆ユーザー様からの声

- その日の授業内容を予め配信しておくことで、予習してくる生徒の数が増えた。
- 生徒のタイミングで解答を見たりできるようになり、自分のペースで学習ができるようになった。
- 生徒の個別の理解度把握に役立っている。その内容によっては次の授業で再講義している。

活用例2. 授業中に生徒の進度にあわせてプリントを配信

問題演習の時間に、生徒の進度にあわせてその場で問題を検索、追加プリントを作成・配信することで、手持ちぶさたな生徒を無くし、授業時間をフル活用できます。

また、問題データはクラウド上にあるため、どこでも同じデータが利用できます。

持ち運びに便利なタブレット端末や、教室に備え付けのPCでも、授業前の準備は必要ありません。

◆ユーザー様からの声

- 生徒の学習意欲が上がった。
- 効率的な授業となった。
- 授業進度が早くなり、生徒個々に合わせて学習時間を無駄なく使えるようになった。
- プリント配布の時間などを節約できたので、プラスの内容ができた。

手順も簡単!

(初回のみ) プリントを受信するためのアプリをインストールしておく

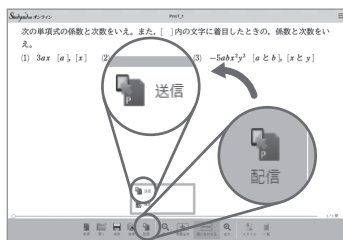
1 受信する側の端末に、Studyaid D.B. ビューアというアプリをインストールします。

アプリのインストールについては、こちらをご覧ください。

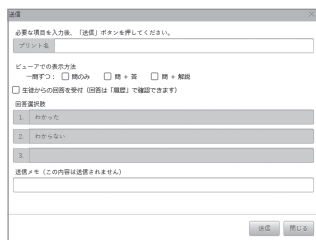
<https://www.chart.co.jp/stddb/viewer/>



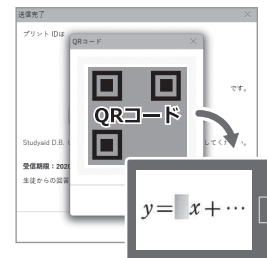
プリントを各端末に配信する²⁾



2 メニューの[配信]→[送信]ボタンをクリックし…



3 送信の設定画面が現れるので、必要事項を入力して[送信]をクリックします。



4 各端末では、プリントIDを入力またはQRコード³⁾を読み取ることで受信できます。

2) 操作画面の画像は『ブラウザ版』のものです。

3) QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。